

件名：第5回 安倍川総合土砂管理計画フォローアップ委員会

日時：令和8年1月28日（水） 10:00～12:00

場所：WEB会議

## 議事要旨

### フォローアップ委員会における委員からの助言

#### (1) 安倍川総合土砂管理計画の概要

- 河口領域・海岸領域におけるモニタリング計画について、調査時期である「顕著な海浜変動」の具体的な判断基準を定めないと、モニタリング実施の判断が曖昧になるため、今後基準を検討する必要がある。
- 山地河川領域における土砂管理対策として、「モニタリングによる土砂生産・土砂流下状況の現象把握」とあるが、河川だけの計測では土砂生産量を把握できないため、対策の対象に、土砂生産・流出領域も含める必要がある。
- 河口領域の土砂管理対策には、河川管理者と海岸管理者の双方が関わるため、「河川管理者と連携」という表現では、どちらが主体かを誤解されるおそれがあるので表現の見直しが必要である。
- 本委員会で提示した一部改訂案を基に、最終版の確定および細部修正を委員長預かりで進めることについて、委員一同より了承された。

#### (2) 安倍川総合土砂管理計画のフォローアップ報告

- 河口領域の防災の視点に関する土砂管理指標について、河口砂州以外の河床高を抽出しないように、河口砂州高を抽出する位置を適切な表現・整理方法に見直す必要がある。
- 今後のモニタリングデータの蓄積を踏まえ、藁科川の土砂管理指標、土砂管理基準の見直しを実施できるとよい。
- 流砂系全体の土砂動態の評価にあたっては、主要な河川だけでなく土砂生産・流出領域の支川も対象としたほうが良い。また、土砂管理指標での評価地点だけでなく、上流域の将来的な土砂動態の変化傾向を想定したうえで総合的に判断できるとよい。
- 安倍川本川下流では河床上昇や掘削コスト高騰により十分な掘削量が確保できていないため、自然の営力を活用した土砂を流下させやすい河道形状の検討や河口域への土砂還元等、対策の具体化・実用化に向けた取り組みについて、今後フォローアップ委員会を通じて委員の意見を伺いながら進めていきたい。

以上